

桃中軒雲左衛門

たうちゆうん

浪曲師。

明治七年茨城縣(異説有り)生れ、

大正五年十一月七日歿(八七三—一九三)。本名岡本峯吉。前名吉川小繁、

吉川繁吉(二世)。

父吉川繁吉、おんは浪花節を習ひ、

十二歳で真打ちとな

る。ゆかりに河家梅車一座を加はるも、梅車の妻と離落す。明治二十一年

京都で興行中の京山花丸の下で桃中軒雲左衛門と名乗る。「義七銘

録傳」が當り、「佐倉義民傳」などと共に四十年東京本郷区で口演、

徳島田原峰、高田半峰等寄附の一流入士と語掛けらるる、二十七日劇演

買の客を集めた浪曲中興の祖。二十五年に宮崎浩大が弟子入りして、事

と存在。

著書『正京孝子傳』(丸山平次郎遠記、明治四十一年一月十一日大阪

・大日本少年俱樂部)「桃中軒叢書」()、『義徳行傳』(桃中軒雲左衛門

門入道名、明治四十一年十月十日大阪・又間安治治郎刊、精華堂書店發

賣)、『雪の隠義七銘々傳・上の巻』(田中黃龍編著、訂正増補・大

正七年五月十日精華堂書店刊)「桃中軒叢書」()等。